

経営情報学会 2018 年秋季全国研究発表大会

津田 博^{*1}・布施 匡章^{*2}・森田 裕之^{*3}・大内 紀知^{*4}・後藤 裕介^{*5}・渡邊 真治^{*6}

経営情報学会 2018 年秋季全国研究発表大会は、10 月 20 日・21 日の両日、近畿大学東大阪キャンパスにおいて、「AI 時代における高付加価値化」を大会テーマとして開催されました。同キャンパスのアカデミックシアター（文理の垣根を越えて、社会の諸問題を解決に導くための学術拠点として 2017 年 4 月にオープンした 1～5 号館からなる全面ガラス張りの複合施設）を使用し、1 日目は企業事例セッション、学生ポスターセッション、一般セッション、ランチョンセミナー、開会式、表彰式、基調講演、特別セミナーが行われ、2 日目は特別講演、一般セッション、研究部会セッションが行われました。



Fig. 1: 講演会場の様子

1. 基調講演と特別講演

大会 1 日目の開会式の後に行われた基調講演では、国立情報学研究所 教授 兼 総合研究大学院大学 教授で一般社団法人人工知能学会 前会長・顧問の山田誠二氏が「人工知能 AI の現在と豊かな社会づくりに向けて」と題してご講演くださいました。

大会 2 日目の午後に行われた特別講演では、京都大学 経営管理大学院 准教授の山内裕氏が「サービスの相互主観的闘争とデザインへの含意」と題してご講演くださいました。

2. 企業事例セッション

企業事例セッションは、産業界の方に経営情報学に関わる企業での実践例、経営情報学に関わる技術やサービスをご紹介いただき、他企業や学識者との情報交換・交流の促進を目的とし、2017 年秋季全国研究発表大会か

ら始まりました。

本大会では、大会 1 日目の午前中に行われ、企業事例セッション特別講演では、株式会社エルプズの田中秀樹氏が「20 年後、高齢者の AI 活用はどのようなものになるか？」と題してご講演くださいました。続いて、6 件の事例発表が行われ、会場では活発な議論が交わされました。聴講者の評価を踏まえ、大会委員長から「経営情報学会 2018 年秋期全国研究発表大会企業事例セッション優秀報告賞」として、園田亜斗夢氏（株式会社 Business Hub、東京大学）の「アパレル EC サイトにおける説明文自動生成」を表彰しました。

3. 学生ポスターセッション

大会 1 日目の午前中に 2 つのセッションにわかれ、25 件の学生ポスター報告が行われ、報告者と来場者間で熱心で活発な質疑応答がなされました。その後の審査の結果、学生優秀発表賞として 4 件の発表が選ばれました。

4. ランチョンセミナー

経営情報学会の全国研究発表大会では、昼休みの時間を有効に活用していただこうと、昼食が提供されるラン

*1 経営情報学会 2018 年秋季全国研究発表大会大会委員長・近畿大学

*2 同 実行委員長・近畿大学

*3 同 プログラム委員長・大阪府立大学

*4 同 実行委員・青山学院大学

*5 同 実行委員・岩手県立大学

*6 同 プログラム委員・大阪府立大学

Received: 25 December 2018.



Fig. 2: 学生ポスターセッションの様子

ションセミナーを開催しています。

本大会では、大会1日目の昼休みにNTTデータ数理システムの山本和寛氏から「数理システム分析ツールのご紹介～数理最適化入門と実社会への適用事例～」というテーマでセミナーを開催していただきました。定員50名での開催でしたが、早々に定員に達するなど、大変盛況でした。

5. 学会賞表彰

大会1日目の午後に2018年度学会賞の表彰式が行われ、木村誠氏（長野大学）が表彰されました。受賞論文は「クロスサイドネットワーク効果の萎縮効果の類型化—コンシューマゲーム産業の2サイド市場モデルとシミュレーション—」（経営情報学会誌, Vol. 26, No. 3, pp. 163-186, December 2017）です。

6. 特別セミナー

大会企画として大会1日目の午後には東京工業大学工学院経営工学系教授の飯島淳一氏による特別セミナー（チュートリアル）「デジタル変革への備えを測るDRA（Digital Readiness Assessment）とその基礎にあるIT-CMF（Capability Maturity Framework）」が2時間



Fig. 3: 懇親会の様子

にわたって開催され、多くの参加者がDRAとIT-CMFについて学びました。

7. 一般セッション・研究部会セッション

大会の2日間を通じて、以下のセッションにわかれ、報告と活発な質疑応答が行われました。

1日目：政府・自治体、情報化社会、経営戦略、イノベーション、組織、ビジネスモデル、データマイニング・ナレッジマネジメント、情報システム

2日目：マーケティング、人材能力開発、イノベーション、IT-CMF研究会、官の情報システム研究部会

8. 懇親会

大会1日目の夜、アカデミックシアター内のラウンジを貸し切り、懇親会が行われました。懇親会では、近大マグロ（1匹40kg）が振る舞われ、懇親会は大いに盛り上がりしました。

次回大会（2019年春季全国研究発表大会）は、6月22日・23日に千葉工業大学の津田沼キャンパスで「X-Tech時代の経営情報科学」を大会テーマに開催されます。是非、ご参加ください。